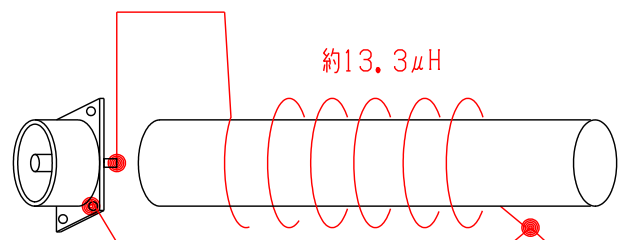
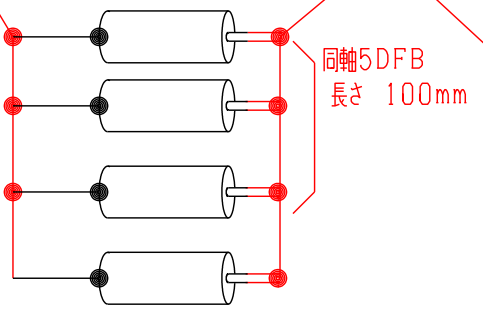


各定数は目的周波数によって調整が必要です。

同軸容量、コンデンサ、スイッチなどは有り合わせて作りましたのでこんな形になってしまいました。



線の種類	長さ	容量
5C2V	100mm	7.2pF
5D2V	100mm	100pF
5DFB	100mm	9pF



同軸5DFB 長さ 120mm
同軸をカットして全体で37pFにする。
(ANTエレメントを接続しないで
共振周波数を7.195MHzに合わせる)

約20mのエレメント

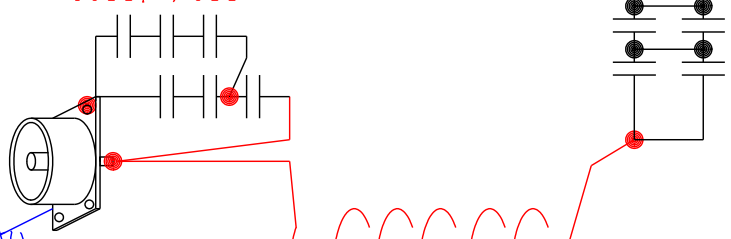
7MHz/3.7MHz切り換えスイッチ
スナップスイッチ

周波数	VSWR
7.025MHz	1.5
7.080MHz	1.1
7.130MHz	1.5

周波数	VSWR
3.735MHz	1.5
3.750MHz	1.0
3.805MHz	1.5

$(3300\text{pF}/4) \times 2 = 1650\text{pF}/1000\text{V}$

1500pF/500V



径22mmで11回スペース巻き
必要に応じて間隔調整する。

必要に応じてラジアルを設置してください。

私の場合はベランダに
20mぐらいの1.25 \square のKIV
線を配置していますが外しても
VSWRは変わりません。

ベランダのスペースの状況から端はトロ状態です。

φ22コイル実測表

巻数	インダクタンス	巻数	インダクタンス	巻数	インダクタンス	巻数	インダクタンス
1回	0.3 μ H	6回	0.8 μ H	11回	1.5 μ H	16回	2.2 μ H
2回	0.4 μ H	7回	1.0 μ H	12回	1.6 μ H	17回	2.3 μ H
3回	0.5 μ H	8回	1.1 μ H	13回	1.8 μ H	18回	2.4 μ H
4回	0.6 μ H	9回	1.2 μ H	14回	1.9 μ H	19回	2.6 μ H
5回	0.7 μ H	10回	1.4 μ H	15回	2.0 μ H	20回	2.7 μ H